

来季ベルギー1部移籍 挑戦を前に…

後藤選手 母校訪問

サッカーのベルギー1部のアンデルレヒトへ来季移籍するジュビロ磐田のFW後藤啓介選手(18)は5日、母校の浜松市上島小学校(中区)を訪れ、5～6年生280人と体育館で交流した。(末松茂永)



「手は抜かない」と児童に巧みな技を見せつける後藤啓介選手(中央) いずれも浜松市中区の上島小で

上島小(中)児童と真剣サッカー対決



5～6年生全員と記念撮影した後藤選手(手前中央)

シーズン中から卒業以来の訪問を楽しみにしていた後藤選手。児童を前に先生から「6年前に卒業した」と紹介を受けた。「こういう選手になりたいと思ってもらいたいの、手は抜かない」と児童2人とサッカー対決した際は、巧みな技を次々に披露した。

質問タイムでは児童たちから矢継ぎ早に質問が飛んだ。一番うれしかったことは？との問いに「選手として勝った時、点を取った時はうれしいけど、今季逆転で(J1)昇格を決めた時が人生で一番うれしかったし、ほっとした」と答えた。

後藤選手は「小さい子に会うと自分にはないエネルギーをもらえるし、初心や純粹な気持ちを思い出させてくれる」と語った。新たな挑戦を前に、お世話になった先生に感謝を伝えたい考えもあって母校に赴いたという。

